

# 施工仕様書

- 塗装仕様：塗装施工用しっくい [ミライム ローラー・刷毛工法] (※ スプレー工法の際は別途お問合せください)
- 適応素材：石膏ボード/ケイカル板/コンクリート/モルタル/スレート/塩ビクロス/塗装下地クロス/古壁 (しっくい壁/砂壁/土壁)  
※改修の場合は、ヤニ止めシーラーを事前に塗布する必要があります。
- 適応部位：屋内 (※浴室等の長時間多湿環境には施工できません/※ 屋外の際は別途お問合せください)
- 容 量：ミライム 2.0kg / 下地調整材 4kg
- 塗装面積：ミライム 3.5~4.0㎡ [2回塗] / 下地調整材 3.5~4.0㎡ [1回塗]
- 標準塗装条件：ミライム ローラー・刷毛工法

工程	使用材料と処置	標準所要量 (kg/㎡/回)	塗装方法	標準塗装間隔 (23℃/50%)
素地調整	エフロ/レイタンス/ゴミ/汚れ等はワイヤブラシ/サンドペーパー/ウエス等で除去し乾燥した清浄な面とする。ボードなどの接合部等の段差はエマルジョンパテ処理等の適切な処理をして平滑な面とする。			
下塗り (下地調整)	ミライム 専用下地調整材	0.1 (無希釈)	ローラー 刷毛	2時間以上
上塗り (1回目)	ミライム	0.2 (無希釈)	ローラー 刷毛	2時間以上 [乾燥状態]
上塗り (2回目)	ミライム	0.3 (無希釈)	ローラー 刷毛	-

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装環境等の個々の条件によって異なります。

※標準塗装間隔は、施工地域や施工時期、塗装環境等によって異なります。

※上塗り2回目の完全乾燥は通常期(4~11月)でおよそ24時間です。

## ●推奨塗装用具

ローラー：含みが良くコシのある中毛ローラーを推奨します。(参考：PIA 株式会社 ジョーカー 毛丈20mm)

刷 毛：ナイロン水性刷毛(筋違か目地刷毛)を推奨します。

## ●注意事項

### ①素地調整

- ・ボードなどの接合部等の段差はエマルジョンパテ処理等の適切な処理をして平滑な面にします。
- ・ボードなどの下地(柱/間柱等)の間隔は455mmを基本とし、ビスピッチは接合周辺部を100mm、一般部を150mmとしていただくのが推奨値です。また、出来れば天井まで1枚で貼り込むか千鳥貼りが望ましいです。
- ・塩ビクロスの上に塗装する際には浮きや剥がれ、継ぎ目のめくれが生じていないか確認し、不適合部は適切な処理をしてください。塩ビクロスの接着が弱い場合、将来的に塩ビクロスが剥離する事があります。接着が弱い場合は必ず接着補強を行ってください。また、紙製クロスの場合は事前に剥がす必要があります。
- ・クロスを剥がす必要がある場合は必ずクロスの裏紙まで完全に剥がしてください。裏紙が残る場合は別途お問い合わせください。
- ・ヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分汚れを除去し、十分に乾燥させてから一般的なヤニ止めシーラーを塗布した後に専用下地調整材を塗布してください。
- ・改修の場合は、事前に一般的なヤニ止めシーラーを塗布した後に専用下地調整材を塗布してください。  
(※一般的な塗料と比較してヤニのブリードが発生しやすいため注意が必要です。特に合板下地や巾木等の木部は発生しやすい為、注意が必要です。また、ヤニ止めシーラーを塗布した場合においても個々の状況によってはヤニのブリードが生じることがあります。)
- ・古壁に塗装する場合は、古壁の状態に応じて補強を行っていただく必要があるため、別途お問合せください。
- ・コンクリートやモルタルなどは、エフロ/レイタンス/ゴミ/汚れなどをワイヤブラシ/サンドペーパー/ウエス等で除去し、清浄な面とすると共に水分8%以下、pH10以下になるまで十分に乾燥させてください。

## ②養生

- ・上塗材塗布後は、乾燥前に養生を除去してください。乾燥後に除去する必要がある場合は、カッター等を使用して除去してください。
- ・マスキングテープを捨張りして上塗りの工程毎に剥がしていただくことを推奨します。

## ③材料調整

- ・上塗材は、開封後にハンドミキサー等でよく攪拌して、均一な状態にしてから使用してください。
- ・専用下地調整材は、容器をよく振って攪拌してください。

## ④下塗り（下地調整）

- ・下塗りには専用の下地調整材を使用してください。
- ・ミライムは塗料ではなくしゅくいなので、一般的な塗装と比較すると隠蔽性に劣るため、下塗りをしっかりと均一に塗装してください。
- ・必要に応じて、増塗りを行うことで上塗りの隠蔽性を補うことができます。

## ⑤上塗り（1回目）

- ・ローラーにミライムを十分に含ませてから、一般的なエマルジョン塗装よりもゆっくりローラーを動かして塗ってください。  
(約60cm 毎にミライムをローラーに含ませるイメージ)
- ・不均一になると2回目塗装時に吸い込みムラが生じやすくなります。乾燥する前に、塗布面を撫でるようにして表面を平すと綺麗に仕上がります。

## ⑥上塗り（2回目）

- ・2回目の塗装時は、ミライムの水分によって色が戻ります（白→淡い白）が、これはしゅくいの特徴で乾燥後には白くなります。この際に、必要以上に増塗りをしてしまうとムラの原因となるのでご注意ください。
- ・2回目は、1回目と比較するとミライムの水分を吸い込むため乾燥が早くなりますので、ローラーにミライムを充分含ませてから、配り塗りを行わず一定方向に、1回目と同様にゆっくりローラーを動かして塗ってください。
- ・不具合箇所を必要以上に必要以上に増塗りをしてしまうとムラの原因となるのでご注意ください。その際は、乾燥後に2回目の要領で全体的に塗り重ねていただいた方が綺麗に仕上がります。

## ⑦その他の注意事項

- ・<各塗り共通>入隅等、ローラーでの施工が難しい箇所は、刷毛もしくは塗装ベンダーをご使用いただくと、細部まで綺麗に仕上がります。
- ・低温（5℃以下）及び高湿度（85%以上）の環境では施工を控えてください。
- ・ムラの原因となりますので、高温時（35℃）は直射日向が当たらないよう日除け養生等を行ってください。
- ・乾燥の段階で、気温や湿度の関係で塗膜に結露が生じる場合は、シミやムラが発生することがありますので、冬季や雨天時には注意が必要です。また、タバコや線香等の煙が付着するとシミの原因になりますので注意が必要です。
- ・密閉環境下の塗装は避け、養生中も十分な換気を行ってください。
- ・材料の保管は、直射日光や凍結等に注意していただくと共に、低温（-5℃以下）及び高音（40℃以上）での保管は避けてください。
- ・取扱い時は、出来るだけ皮膚に付着しないように注意して、必要に応じて保護具を着用してください。
- ・補修の方法は、状況に応じて異なる場合があるため別途お問合せください。
- ・自然素材のため、ロットによって若干の色差が生じる場合があります。
- ・その他の注意事項に関しては、SDS（安全データシート）をご参照ください。

## ●施工要領動画



左記 QR コードを読み取りください。

こちらの動画は、基本的な施工手順について説明しております。

実際に施工される際には、本仕様書を必ずご確認の上、施工していただきますようお願いいたします。

※本仕様書の内容は製品改良等により予告なくして変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※本仕様書と異なる施工方法による不具合が発生した場合は責任を負いかねます。